



「第7回日本ケータイ小説大賞」受賞作決定！
大賞はYuUHiさんの『大好きでした。』
3月26日全国書店にて発売！

株式会社毎日新聞社(東京都千代田区一ツ橋1-1-1、代表取締役社長:朝比奈豊)、スターツ出版株式会社(東京都中央区京橋1-3-1、代表取締役社長:菊地修一)で構成する日本ケータイ小説大賞実行委員会は、読者投票、実行委員会、および審査員による審査を行い、大賞1作品(賞金100万円)、優秀賞1作品(賞金30万円)など第7回日本ケータイ小説大賞の入賞作品を決定しました。入賞作品は順次書籍化を予定しています。今回の応募総数は2,326作品でした。

	著者名	作品名
大賞	YuUHi(ゆーひ)	『大好きでした。』
優秀賞	Salala(さらら)	『今までの自分にサヨナラを』
TSUTAYA賞	rila。(りら)	『四つ葉のクローバーちょうだい。』
進研ゼミ中学講座賞	YuUHi(ゆーひ)	『大好きでした。』
特別賞	月森みるく(つきもりみるく)	『15歳のラビリンス』

※名前はいずれもペンネーム。()は読みがな。

■「第7回日本ケータイ小説大賞」概要

主催：日本ケータイ小説大賞実行委員会（毎日新聞社、スターツ出版）
 協賛：マイナビ [JOL]
 特別協力：NTTドコモ
 協賛：TSUTAYA／進研ゼミ中学講座
 審査員：藤田ニコル（新潮社「nicola」レギュラー出演中）
 小山内花凜（新潮社「nicola」レギュラー出演中）
 榎本咲百合（女子高生出版部 編集長）
 田中伸明（NTTドコモ スマートコミュニケーションサービス部
 コンテンツ推進室 コンテンツ開拓担当部長）
 北野有希子（カルチュア・コンビニエンス・クラブ TSUTAYA事業本部
 MD・販促部 BOOKユニット BOOK-MD）
 小野 祐輝（ベネッセコーポレーション 中学生事業部 部長）
 内藤 麻里子（毎日新聞社 編集編成局 学芸部 編集委員）
 新井俊也（スターツ出版 代表取締役専務）

(敬称略)

大賞・進研ゼミ中学講座賞

『大好きでした。』 YuUHi

YuUHi (ゆーひ)

千葉県千葉市出身。2月28日生まれの子座。マイペースで人の話をあまり聞かないO型。
胸キュン系、感動系、切ない系のケータイ小説が好き。
2012年3月に『無愛想彼氏』が書籍化。(スターツ出版刊)

作品紹介

放課後の美術室で、いつもひとりで絵を描いている高2の舞。舞には幼いころから画家になる夢があったが、ある事情で、それを諦めかけていた。そんな舞の前にクラスの人気者でバスケット部のエース・翼が現れ…。夢はNBAプレーヤーだと笑顔で語る翼と共に、再び夢を追いかけ始めた矢先、翼に衝撃の出来事が！夢に向かってがんばる姿に号泣の純愛ストーリー。

審査員：藤田ニコル氏評

翼と舞のふたりが励ましあいながら夢に向き合っている姿に感動しました！翼はいつも一生懸命だし、親友の悟史くんのアツいセリフもあって、登場人物がみんなすごくカッコいい！キュンキュンするラブなシーンもあれば、涙するところもあったし、バスケの試合のシーンはハラハラドキドキするし、読んでて楽しかったです！

審査員：小山内花凜氏評

“背”というひとつの才能がなくても、努力して立ち向かって、強くなっていく翼。そんな翼が夢について話す言葉が、どれもココロに残りました。「夢はあきらめちゃいけない！」——この作品を読んでイチバン強く思ったことです。私も自分の夢をあきらめません。夢を持っている人はもちろん、持っていない人にもぜひ読んでもらいたいです。

審査員：榎本咲百合氏評

夢を諦めそうな人や、一度諦めてしまった人が、もう一度頑張ってみようと思える作品です。主人公の二人はもちろん、バスケット部のメンバーをはじめとする他の登場人物もみんな良い性格のキャラクターで、彼らの台詞一つ一つから元気が貰えます♪バスケや美術に関わりのある人もない人も、恋をしている人もしていない人も、是非是非読んでほしいです。

審査員：田中伸明氏評

一度は「夢」を諦めた女の子が、ある男の子の「夢」に向かって進んでいくひたむきさ、ハンデをもろともしない前向きな考え方に会おう。彼と彼を取り巻く個性豊かな仲間とのふれあいの中で彼女は様々な影響を受け、これまでの自分を見つめなおし…という友情と「夢」を織り交ぜたストーリー。皆さんにも読んでいただきたい！

審査員：北野有希子氏評

コンプレックスや不安があっても、決して諦めない。前向きに夢を追おうとする舞と翼の姿勢に、大きなテーマ性が感じられました。お互いの夢を応援し、思い続ければ「夢は叶うんだ！」とココロに響いてきます。「夢があるけど、一歩踏み込めない」「やる前に諦めてしまう」そんな人に是非読んでもらいたい作品です。

審査員：小野祐輝氏評

今回のテーマである、「夢」に向かうエネルギーをととても強く感じる作品です。登場人物全員から、前向きに生きる強さと仲間への温かい思いやりを感じました。爽やかな風と温かい空気に包まれて、「私ももっと頑張りたい！」と背中を押される気がする一冊です。みなさんぜひ読んでみてください。

審査員：内藤麻里子氏評

夢をあきらめない気持ちに真剣に取り組み、好感が持てました。登場人物はさわやかで、安心して浸ることのできる物語世界でした。ただ、「けが」という要素を安易に使っている点が気になりましたが、その欠点をカバーする表現力の将来性を買いしました。何か所かいいフレーズがあり、その文章を生み出す視点を評価しました。

審査員：新井俊也氏評

高校生らしい等身大の「夢」が、とてもさわやかに心地よく読める作品。キャラクターの違う内気な舞と人気者の翼がお互いに魅かれあい、夢を認め合っていく展開は、今回のテーマにフィットしている。恋愛、友情、スポーツ、挫折といった青春の王道が描かれている中で、嫌味なく素直に読める良作であり、著者の将来性も期待できる。

優秀賞
『今までの自分にサヨナラを』 Salala

Salala (さらら)

アニメが大好きな、21歳のA型。好きな食べ物は、お寿司とからあげ。
最近、いろいろな香りの紅茶を集めることにハマっている。

作品紹介

生まれつきの障害で車椅子生活を強いられ、恋も夢もあきらめていた高2の紗由里。
文化祭の日、太陽のような笑顔の男子・光から突然声をかけられ、連絡先を渡される。
彼に見覚えはなかったけど、初対面で“さゆ”と呼ぶ光のことが気になってしまって…。

審査員: 藤田ニコル氏評

生きるコトの大切さに気づかされました！ さゆのココロの描写がリアルで、思わず引き込まれてしまうシーンがいっぱい。「次はどうなるの!?’って、いつのまにかどンドン読み進めてました。それに、光くんが本当に太陽みたいな存在ですごくカッコいい！ 実体験が元になってるって知って、作者さんを応援したくなりました。

審査員: 小山内花凜氏評

命の大切さがすごく分かった作品だった。光が紗由里のココロを溶かして行って、紗由里に生きる意味を教えてあげた。そして、紗由里の周りの人たちもすごくいい人ばかりで・・・すごく幸せなことですよ。改めて、私自身もいい環境で過ごせてるんだなってことにも気づかされました。ふたりのラブもめっちゃ見どころです！

審査員: 榎本咲百合氏評

主人公は作者と同じ病気ということで、とてもリアリティーのある作品です。病気の人の辛い現実、さらにはそれを乗り越えて夢を追いかける勇気や周りとの関係、どれも刺激的な事実です。この作品を通して、病気の人にもそうでない人にも、命と向き合って深く考えてほしいです。もちろん、ケータイ小説ならではの恋愛シーンも楽しめます☆ 光と出会って変わっていくさゆの姿に注目してください。

TSUTAYA賞
『四つ葉のクローバーちょうだい。』 rila。

rila. (りら)

岩手育ちの新潟県民。12月20日生まれ、いて座、O型。
好きなものは高校野球と可愛い物と四つ葉のクローバー。
ただ今、娘の育児に奮闘中の新米ママ。

作品紹介

高3の百合子は野球部のマネージャー。幼なじみで同じ高校の野球部でキャプテンとして活躍している稜ちゃんに幼い頃から片思いしているが、気恥ずかしさからなかなか距離を縮められない。「甲子園出場という夢に向かって一生懸命な稜ちゃんに、なにかしてあげたい！」という想いで、ふたりの思い出でもある四つ葉のクローバーを探し始めるが…。

審査員: 北野有希子氏評

幼馴染なのに、7年間も野球部の稜ちゃんに片思いを続けている百合子。甲子園出場という彼の夢に、自分の夢を重ね合わせていくところがとても爽やか。野球のシーンでは、思わず手に汗握ってしまうほどの臨場感と躍動感を感じました。稜ちゃんと百合子の、不器用な恋を思いっきり楽しんでもらいたいと思います。

特別賞
『15歳のラビリンス』 月森みるく

月森みるく

千葉県出身の東京都民。中学1年生の時に友人の小説を読んだことがきっかけで、書くことに興味を持った。趣味はもちろん小説を書くこと。でも絵を描くことは苦手。好きなものは高校野球と関西弁と、著者名の由来にもなった月といちごみるく。2012年10月に『青空のむこうに～バスケットに恋して～』が書籍化。(スターツ出版刊)

作品紹介

ちょっと不良な男子・ジンと付き合いはじめた中3の美織は、受験生だというのに、どんどん成績が落ちてしまう。親にはイヤミを言われ、教師には別れるように説得されるが、美織は彼との時間を優先していた。でも、ある日、ジンから突然別れを告げられて…。

【この件の問い合わせ先】

第7回日本ケータイ小説大賞
広報担当(スターツ出版株式会社内)

〒104-0031 東京都中央区京橋1-3-1
八重洲口大栄ビル7F

TEL:03-6202-0311

FAX:03-6202-0400

担当: 関根